

先月号では「無効茎の抑制」について掲載しました。7月下旬には減数分裂最盛期を迎え、重要な穂肥の時期が訪れます。この時期の追肥は、倒伏を軽減し、米を充実させる大事な作業です。「葉耳間長」を確認し、各圃場の生育に見合った適期適量を施しましょう！

◆ **葉耳(ようじ)**とは、葉の付け根の節目を言います。葉耳間長(ようじかんちょう)とは、止葉葉耳とその前の葉耳の間(間隔)のことを言います。減数分裂期に入った事を目視できる方法の一つです。

止葉

止葉葉耳

葉耳間長  
±0cm

※遅くても+4cmまでに  
散布してください。

第Ⅱ葉葉耳

## ■実際の葉耳



葉の付け根の節目には、白い毛のようなものが見えます。これが葉耳になります。

※右図の囲まれている箇所が葉耳です。

## 【重要】

### ◆葉耳間長を確認する

葉耳間長は、親の穂で確認します。止葉葉耳と第Ⅱ葉葉耳の重なりを確認し、**葉耳間長±0cm**の**時が穂肥を行う一番の適期**となります。**遅くとも+4cm**までに散布してください！

### ◆確認場所の注意点

葉耳間長は、圃場内の平均的な生育の箇所を確認します。(例えば、圃場中央)

適期適量を施し、

倒伏や未熟粒の発生を防ぎましょう